

令和2年度 社会福祉法人 月形町社会福祉協議会事業報告

概況

コロナウィルス感染症の影響が長期化する中、町民の皆さんや各施設・団体には、活動自粛と感染予防措置をお願いし、その感染予防の効果もあり大きな不安もなく推移していくことができました。コロナ禍の中においても、当社協は地域住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指す「地域共生社会の実現」に向けた推進を進め、課題解決に向け各関係機関や各種団体、地域住民と連携・協働を図ってまいりました。

あずましプランの4年目の実施は、コロナ禍での感染予防対策の徹底により、多くの事業を延期ないしは中止せざるを得ない状況となりました。特に人と人との関わりを基本とするサロンや食事会等の事業は、感染予防対策を受けてしまい必要な事業ができず、時間短縮やお便り事業等工夫をしながらの実施となり、当事者の方々にご心配をおかけしたことや、町民と共に進めてきた事業の遅滞の結果になってしまいました。また、相談体制や権利擁護体制については、生活課題に対応した地域住民への相談支援を実施し、生活福祉資金貸付や必要なサービスの提供を行いました。

社会福祉法人の経営については、組織体制強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化に努めました。また、地域における公益的な取組みについては、町内にある社会福祉法人等との情報交換や地域住民に向けた公益活動について協力等を行いました。

1 重点事業の実施状況

(1) 福祉への関心を高め、理解を深める機会の提供については、ボランティア活動の推進を中心に学生等の福祉教育や、地域住民に向けた「福祉でまちづくり事業」の実施を行いました。

また、ボランティアリーダー育成の取り組みについては、新型コロナウイルス感染拡大防止により、今年度は実施できませんでした。

(2) 一人ひとりの存在を大切に、交流する機会と場をつくるについては、見守り、サロン等の事業展開により地域に潜在している生活課題の発見やニーズについて、福祉活動専門員、生活支援コーディネーターを中心に訪問活動を行いながら行政、関係団体、住民の協力・連携を得ながら解決に向け努めてまいりました。各町内会では、ふれあいサロン活動、全町民

対象のあずまし茶屋や食堂について、コロナウィルス感染対策を行いながら実施され、住民主体による参加運営が行われました。

(3) 困りごとに気づき、必要なサービスを提供するについては、身近な地域で福祉の悩みごと等が相談できる総合相談や権利擁護事業について、積極的に住民周知等を行っていききました。そのことにより、制度だけでは解決が難しい方々や、低所得者支援を必要とする方々の発見、新型コロナウイルスによる生活困窮者への情報提供支援や相談に繋がり、問題解決に向けて貸付制度等の活用や就労支援について関係団体と連携を行いました。

福祉サービス事業については、訪問介護事業・障がい者地域活動支援センター事業に取り組み、要介護者及び要支援者等に対して支援サービスの充実に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染拡大時においても休業等はなく、感染対策を行いながら利用者支援を行うことができました。利用者の減少は今年度も続いており事業運営は厳しい状況となっています。介護予防・日常生活支援総合事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止により、生活支援協議会は開催を中止しています。

(4)各機関・団体との協働と社会資源づくりについては、あずまし計画の実施・実施報告、社会福祉法人の地域公益的な活動について、町民や関係機関の協力のもと事業実施に取り組みました。また、月形町交流センターは指定管理者を受け管理、運営に努め住民へのサービス向上を図ってまいりました。法人運営については、限られた財源の中で効率的で効果的な事業運営を図るため、専門職員の配置、事務事業の見直し等経費の節減・合理化に努め、運営充実に努めてまいりました。

2 事業実施状況

(1) 地域福祉推進事業

社会福祉協議会が行う地域福祉活動の取組みや推進事業の情報を広く町民の皆様に紹介し地域福祉推進役としての社協の役割、相談機能を確認し、各関係機関等との協力を努めました。

★ 心配ごと相談所の開設 土・日・祝祭日を除く開設し、民生委員との連携のもと住民相談に努めました。

相談件数 なし

★ 総合相談

専門職による総合相談を、行政、民生委員、町内会、関係機関等と対応しました。

相談件数 7 件(実人数 7 名) 前年比+4 件

内容 生活福祉資金貸付相談、介護保険サービス利用について、地域福祉サービス利用について、

★ 社協だよりの発行

ホームページは毎月更新し、情報発信を行いました。広報は 7、10、12、3 月発行し、全戸に配布しました。合わせて、道社協のホームページに掲載しました。

★ 生活福祉資金の貸付

コロナによる緊急貸付 緊急小口資金 貸付件数 5 件

総合支援資金 貸付件数 3 件

総合支援資金再貸付 貸付件数 3 件

コロナによる相談件数 電話 7 件、来所 12 件

月形社協貸付 貸付者 3 名(前年比 0 人)／貸付額計 110,000 円

★ 北海道共同募金会月形町共同募金委員会への協力

新型コロナウイルス感染拡大防止により、イベントが中止となる中、各行政区、町内会、学校、ボランティア団体の協力により、募金活動に努めました。今年度においても月形町キャラクターベルデくんのピンバッチを作成し、募金活動を実施しました。

(2) 福祉振興事業

在宅生活に向けた様々な生活支援や相談について、積極的に情報提供・支援を行いました。

★ 在宅寝たきり老人等日常生活用品助成事業 (おむつ代助成)

助成実人数 23 名(前年比-2) 126 件(前年比+1)

新規 5 名(前年比-1)

★ 高齢者、障害者等危険個所の除雪「福祉除雪」サービス事業

認定世帯 30 世帯(前年比+5)

実施世帯 15 世帯(前年比+12) 実施件数 46 件(前年比+42)

作業 委託先 NPO 法人サトニクラス

★ 寝たきり老人等入浴事業利用促進

利用件数、相談等 相談 1 件

★ 団体助成等への協力

月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会の事務を担当し事業の推進に努めました。また、月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会、空知双葉里親会へ事業補助金の助成を行いました。

★ ふれあいいきいきサロン事業

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、消毒、マスクの着用、換気等配慮しながら、内容を工夫しながら短時間で開催をしました。企画、実施等について、町内会、ボランティア、民生委員協力のもと行いました。

自粛期間中には、参加者へ「サロンだより」を 4 月、12 月に配布しました。

(1)ふれあいどようび

在宅障がい者の方々に呼びかけし定期的を実施。レクリエーション、昼食会等を行いました。 10 回実施 延べ参加人数 137 名

(2)市北 6 サロン

市北 6 町内会の高齢者を中心に茶話会、昼食会等を実施しました。

7 回実施 延べ参加人数 72 名

(3)北農場 1 サロン

北農場 1 町内会の高齢者を中心に、レクリエーション、買い物バスツアー等を実施しました。 7 回実施 延べ参加人数 138 名

(4)中和ふれあいサロン

新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

(5)赤川 1 ふれあいサロン

赤川 1 町内会の高齢者を中心にレクリエーション、講話、買い物バスツアー等を実施しました。 5 回実施 延べ参加人数 71 名

(6)赤川 3 ふれあいサロン

赤川3町内会の高齢者を中心にレクリエーション、買い物バスツアー等を実施しました。 6回実施 延べ参加人数 75名

(7)まんまるカフェ(0歳～就学前のお子さんを対象のサロン)

新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

(8)男の料理教室

高齢者、若者男性に向けた調理と、栄養面を中心とした料理教室の実施をしました。 9月 1回実施 延べ参加人数 9名

★ ひとり暮らし等高齢者の配食サービス事業 (週3回実施)

対象者 25名(前年比-1名) 配食日数 155日

延べ配食数 2,886食(前年比+471) 新規申請 10名(前年比+5)

配食便り 毎月1回発行、行事弁当 4回実施

ふれあい昼食会 あずまし食堂と合同で開催

★ 福祉有償運送事業

要介護、支援者、障害者の町内へ通院、買い物等について福祉車両での輸送や障害者への町外通院、移動支援を行いました。

登録実者数 116人(前年比-9人)、延べ運行回数 773回(前年比+108回)

★ 日常生活自立支援事業

道社協からの委託を受け、相談対応や申請、関係機関との調整等を行いました。

継続利用者 3名 利用件数延べ 48回

生活支援員 2名

(3) 在宅福祉サービス事業

介護保険、障害者総合支援法のもと要支援者等への身体介護、家事支援、通院介護等について、利用者ニーズに配慮した人員体制をつくり、介護、支援の強化に努めてまいりました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、消毒やマスク着用の徹底、衛生資材の確保、また、感染になった場合の対応について全職員への周知、関係サービス機関との連携を図りました。今年度は、新規利用者等が多くなっていますが、サービス提供内容や利用回数、利用者の減員状況は続いており、苦しい経営となりました。生活

支援コーディネーターの事業については、生活支援協議会の実施は中止となりましたが、地域包括支援センター、関係機関と連携し事業を進めてまいりました。

★ 訪問介護事業

(1)高齢者

ケース人員	介護	15名(前年比+8名)	(うち新規6名)
	総合事業	11名(前年比0)	(うち新規4名)
	延べ件数	1,178回(前年比-83件)	

(2)障がい者

ケース人員	居宅介護	14名(前年比-2名)	延べ件数 1,585回(前年比-326回)
	移動支援事業	6名	延べ件数 26回 (-45回)

★ 障がい者地域活動支援センター

地域で生活をする障がい者に様々な活動体験を通し、生きがいや生活の質向上につながるサービスを提供しました。今年度は、コロナウィルスによる感染拡大がないよう、消毒、マスクの着用、体調管理に配慮し、休業することなく活動を続けています。加齢による心身面での機能低下や、自閉症の利用者支援でより介助を必要とする利用者が多くなっており、職員3名を配置し専門知識の向上と活動内容の工夫を行いました。また、創作活動や昼食提供には定期的なボランティアの参加があり、地域社会との交流を深めてまいりました。

- ・契約人数 9名(前年比0)
- ・延べ利用人数 1,075人(前年比+22人)
- ・入浴延人数 720人(任意選択事業)(前年比+90人)
- ・送迎延人数 1,075人(任意選択事業)(前年比+22人)

★共生デイサービス

町内の高齢者及び障害者、家に閉じこもりがちな者、生活困窮者等の日常生活に支障のある方々について、制度の垣根を越えて地域活動支援センターと一緒にデイサービスを提供しました。2名の方が利用し、生活状況の改善、心身機能の維持増進を図ることができました。

- ・契約人数 2名

- ・延べ利用人数 190 人 (前年比+62 人)
- ・入浴延人数 190 人 (前年比+64 人)
- ・送迎人数 22 人 (前年比-11 人)

★ 生活支援サービス(有料による生活支援)

- ・登録者 4 名 (前年比 0 人)
- ・実施状況 延べ 3 回 (前年比 0)
- ・サービス内容 買い物、役場手続き代行

★ 生活支援コーディネーター活動事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、開催方法を工夫しながら事業を実施しました。集まるのが難しい時期が多く、利用者へはお便りを出して情報発信を行いました。

- ・アクティブボランティア養成研修 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
- ・生活支援協議会 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
- ・あずまし茶屋 5 回開催 延べ 87 名参加
- ・あずまし食堂 3 回開催 延べ 122 名参加
- ・「サロン便り」 4 月、12 月発行

(4) 地域活動推進事業

ボランティアネットワークづくりの強化、資質向上を目指し、様々なボランティア活動への協力や紹介を行いました。コロナウイルス感染拡大防止により、協議会も延期や中止となったり、研修については、リモートによる新しい研修方法を活用し参加をしています。

★ ボランティアセンター運営事業

住民によるボランティア活動の推進を行い、個人ボランティア登録、団体、関係機関へのセンター活動の周知やコーディネートを行いました。

個人ボランティア登録 62 名、団体ボランティア 9 団体 171 名
センター運営会議 1 回 (書面開催)

広報発行 4月 全戸配布
研修会開催 10月 つきがたあ〜と展への運営協力
2月 介護入門研修(基礎講座)への参加協力 18名参加
3月 ボランティアミーティング(災害時の活動について)
34名参加

★ ボランティア団体への育成及び活動促進

活動団体への活動助成

3団体へ補助金助成、4団体へ老人世帯除雪援助事業の交付等を行いました。

学童・生徒のボランティア活動普及事業への協力

10月～11月 月形小1,3,5年生への福祉総合学習の協力

★ 民生・児童委員・行政区長、町内会との連携強化

民生児童委員協議会の参加

各行政区・団体への地域状況把握

★ 地域福祉ネットワーク推進協議会事業

推進会議 4回 (4月、12月書面開催) 事業計画策定、情報交換

研修等 新任研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

世代間交流事業 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

福祉従事者等スキルアップ研修(道キャリアパス支援事業)

11月オンラインにて実施 16名参加

★地域見守り推進事業

見守り実施状況

対象者 51名(前年比-10名)

見守り回数(訪問、電話、情報) 1,161回(前年比+52回)

サポーター 12名(23名担当)

研修状況

サポーター意見交換会 3回

研修開催 ・「月形町福祉でまちづくり推進フォーラム」新型コロナウイルス
感染拡大防止により中止

- ・ボランティアミーティング 4名参加

(5) 社会福祉協議会の充実と財政基盤の強化

理事会、評議員会を開催し組織、並びに事務局体制の充実に努めました。

職員については、毎月所内での研修実施、所外研修等に参加し、知識向上に努めました。社会福祉法人の公益的な活動については、関係団体と協力しながらサロン運営の活動を行うことができました。

★ 評議員会、理事会、事務局体制の強化

会議開催状況

理事会 4回 (5月、11月書面開催)

正副会長会議 1回

評議員会 2回 (6月書面開催)

定期監査 4回

決算監査 1回

運営協議会 新型コロナウイルス感染拡大防止により、5月書面開催

役職員の研修及び調査活動

9月 地域に理解され支持される社協づくり研修 役員2名参加

11月 空知地区災害ボランティアセンター設置訓練 職員2名参加

★ 関係機関、福祉団体との連携促進強化

情報交換や事業等において、行政区、町内福祉施設との連携を図りました。

★ 社会福祉法人等との連携

- ・ あずまし会議

新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

★ 地域福祉実践計画実施に伴う住民懇談会の開催

新型コロナウイルス感染拡大が収まるのが難しく、今年度についても開催することができませんでした。次年度、あずまし計画3期計画の策定に向けて準備していくことになりました。

- ・ あずまし推進会議 令和3年2月 (書面による報告)

★ 交流センター指定管理

年間利用者数 8,916名(前年比-3163名)年間利用回数 732回(前年比--196回)

葬儀、法事等 39件(前年比+20回)

職員の状況

令和2年6月30日付退職

事務局職員(嘱託職員) 金山 邦彦